

小さな掛金、  
大きな保障で  
あなたの暮らしを  
守ります

# 共済だより

2021.6.8  
No.23  
〈発行〉  
大阪年金者組合  
共済部

## 「1500人共済対話・拡大キャンペーン」

## 各支部で対話すすむ

ゲットしよう!

支部財政づくりを援助  
9支部で8万8千円の「拡大推進費」  
(6月7日現在・中央請求分)

掛金算出して  
勧めるのが秘訣

高槻

未加入共済加入・  
増額訴え

美原

前号の「共済だより」で紹介しましたが、対話一番乗りは高槻支部の織部書記長。俳句サークル「ケヤキ句会」の会員10人に総当たりしたのをはじめ、合計25人と対話。火災3人・交通5人が加入し、火災検討3人、交通検討1人となっています。

〔メモ〕火災共済に加入してもらった秘訣は、自宅の面積を確認の上、掛金を算出して検討してもらうこと。

「安い掛金・大きな給付」が  
魅力と民間から乗り換え

羽曳野

羽曳野支部は1500人対話キャンペーンを積極的に受け止め、役員5人で火災2人、交通11人の成果を上げています。とくに、全労連共済の「安い掛金、大きな給付」を前面に押し出して加入を勧め

民間損保からの乗り換え加入が増えています。

〔メモ〕民間保険は掛金の3分の2が経費、残りの3分の1が給付。全労連共済は3分の2が給付に、3分の1が経費に使われます。

堺美原支部は5月号の支部機関紙に共済関係資料を同封するとともに、共済加入者に新規の共済加入と増額、そして継続を訴えました。  
3人の役員が24人と対話。組合未加入者に火災・交通を勧めたが、共済には加入しなかったものの組合に加入。  
一塚書記長は、「コロナ禍の中で、自宅に来てもらって対面で説明するのは苦労した。ワクチン予約の問題や、組合員のいろいろな要求や意見を

共済に加入して  
いてよかった

「交通災害共済」

事故は  
想定外に  
起こりま

ありがたい制度だと感謝

共済が  
大きな  
力になります。事故などで、  
身体は元に戻りませんが、  
手助けになることだけは確  
かでした。ただ、もう少し  
手続きをスムーズに進めて  
もらえたら最高ですが…。



す。走行中に左折車に巻き込まれる事故に遭い、大腿骨頭部骨折をしました。年金者組合に加入して「個人賠償責任共済」が魅力だったので、  
「交通災害共済」がこれほどありがたい制度だったとは大変感謝しています。  
不測の事態に備えるためにも、

は筆談で説明した」と、手厚い対応がとられています。  
まず対話で訴え

茨木支部は6人と対話。

2人は「今回は見合わせる」となったが、火災に3人、交通に2人が加入。  
堺西支部は3人に火災の資料を渡して対話。そのうち組合未加入の女性が共済には入らなかったものの、組合に加入しました。

【お願い】対話をしたら  
その都度、報告紙をファックスかメールで府本部へ送ってください。

### 【キャンペーン対象内容】

- ① 共済のパンフレットやビラ、申込書を渡して組合員と個別に対話したが、加入に至らなかった場合…対話1名に対して**500円**支給
- ② 組合員と対話して共済に新規加入または増額してもらった場合…1名につき**1000円**支給
- ③ 組合未加入者と共済で対話し、共済には加入しなかったが組合に加入した場合…**1000円**支給（組合と共済の両方に加入した場合も1000円）

